

CS2 対応版プラグインについて

解説文書や仕様文書は従来版用なので、CS2 版を使用する際には、以下の 2 箇所を読み替える必要がある。

① プラグインのインストール場所の変更

CS2 版は、**lms**(小文字でエル・エム・エス)というフォルダを作成する。

従来版 C:\Program Files\Adobe Illustrator 8.0\Plus-ins\lms.aip

CS2 版 C:\Program Files\Adobe Illustrator CS2**プラグイン**\lms\lms.aip

② 名称の変更

「オブジェクト置換」を「スウォッチ置換」に変更した。メニューも以下のようにになっている。

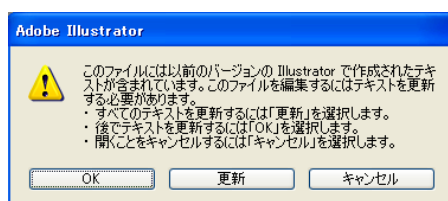
従来版 2) テキスト→オブジェクト置換 3) オブジェクト→オブジェクト置換

CS2 版 2) テキスト→**スウォッチ置換** 3) スウォッチ→**スウォッチ置換**

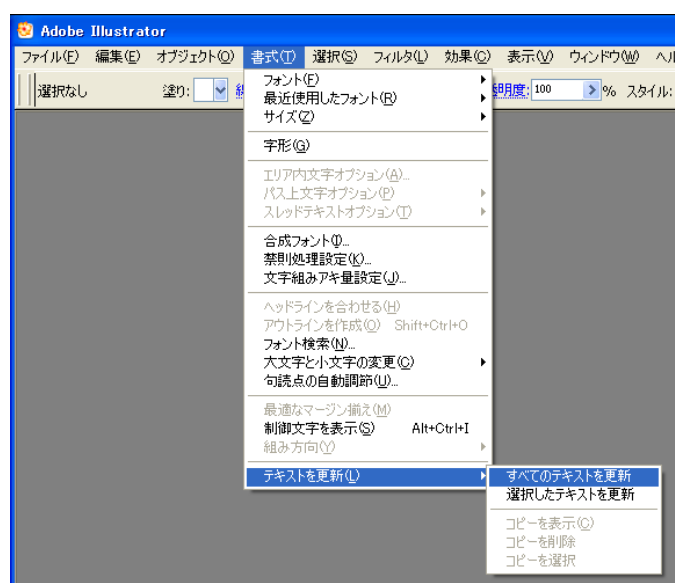
注意点

イラストレータはCSより、テキスト・オブジェクトの内部での扱い方が変更された。そのためCS以前に作成されたファイルを開く場合にはテキストを更新する必要がある。**この更新を行わないとプラグインは正常に動作しない。**

CS 以前のバージョンで作成されたファイルを開くと、以下のような警告が出るので、「更新」をクリックする。



あとから更新する場合には、メニューから「書式」→「テキストを更新」を選択する



ただしテキストを更新しても、**テキストの傾き情報が引き継がれない**。そのため従来版の白地図で、記号を傾けている場合は、傾き情報を再度付与する必要がある。方言文法全国地図の白地図もこれに該当するため、CS2 版の白地図を新たに作成した。